

地下タンク貯蔵所の配管の損傷

地下タンク貯蔵所（写真右側）からポンプ室（写真左側）に至る埋設配管が地盤の亀裂により露出し、損傷した。（写真は応急措置後）



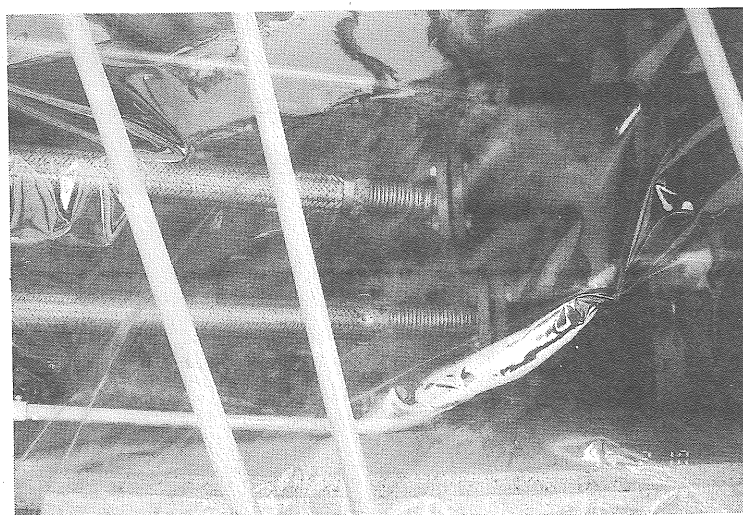
配管ピットの沈下

地下タンク貯蔵所の配管ピットが建物から離脱し約80cmも沈下してしまった。



（前同）配管ピット内のフレキシブルホース（可とう管継手）

前写真のA型バリケードのピット部分にフレキシブルホースが設置されていたが、ピットの沈下により沈下しなかった建物との間に段差が生じ、伸びきってしまい破断寸前であった。



漏洩したタンク室内部

写真は地下タンク貯蔵所のタンク室の状況ですが、右側部分に漏洩痕が確認できる。タンク室構造であったため室外には漏洩していない。



給油取扱所の液状化現象

ポートアイランド内の営業用給油取扱所も液状化現象によって一面が泥の海と化した。



(前同) 給油取扱所の地盤面の沈下

事務所周囲の地盤面が沈下したため、大きいところで事務所との段差が50 cmにも達した。



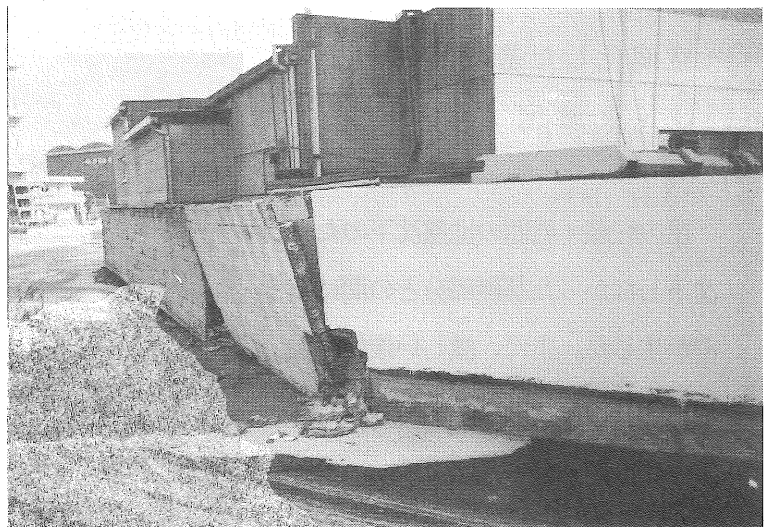
防火塀の損壊と液状化

摩耶埠頭内の営業用給油取扱所も防火塀中央部が基礎部分から崩れて倒壊寸前である。また、地盤面には液状化による多量の泥砂が堆積している。



(前同) 防火塀の倒壊

給油取扱所裏側の防火塀も亀裂が生じ倒壊寸前である。



移動タンク貯蔵所の常置場所

激しい揺れによりシャーシーの補助脚が折れ曲がり、傾斜してしまったタンクコンテナ（写真は一般貨物用）。幸いにしてツイinstロック（固定金具）を閉めていたので転落は免れている。走行中あるいは駐車中であっても必ず、ツイinstロックを閉める必要がある。

